

清流太川

羽地中学校
学校日より 106 号
せいりゅうおおかわ
H30.10.16

「下町ロケット」
「陸王」の作者で
著名な池井戸潤さ
んの表題作。
走行中のトレレ
ラーのタイヤが外
れて歩行中の母子
を直撃した。



事故死の原因は、「運送会社の整備不良?」。赤松運送会社は窮地に追い込まれる。しかし、事故原因を不審に思った赤松社長は、大企業の不正が隠されていることを記者・榎本とともに追求していく。文庫本で上下巻あり、まだ読んでいく途中です。

次の文章は何についての文章でしょうか?
新聞の方が雑誌よりいい。街中より海岸の方が場所としていい。最初は歩くより走る方がいい。何度もトライしなくてはならないだろう。ちょっととしたコツはいるが、つかむのはやさしい。小さな子でも楽しめる。一度成功すると面倒は少ない。鳥が近づきすぎることはめったにない。ただ、雨はすくしみこむ。多すぎる人が一斉にやると面倒が起きる。ひとつについてかなりのスペースが必要。石はアンカー代わりに使える。ゆるんでいるものがとれたりすると、それで終わり。

わかったつもり

読解力がつかない本当の原因

西林克彦



読書月間お勧め本

脳にはクセがある

池谷裕二

「脳には妙なクセがある」コミュニケーション最強の武器となる笑顔は、楽しいを表すのではなく、笑顔を作ると楽しくなるという逆因果。脳は身体行動に感情を後付けしているのだ。姿勢を正せば、自信がもてるのも一例。
背筋を伸ばして書いた内容の方が、背中を丸めて書いたものよりも確信度が高い。
人間の脳の妙なクセを理解し、快適に生きるために、気鋭の脳科学者が解説した本です。

「わかったつもり」
中三年の国語教科書「フロン規制の物語」の指導例を探していた時に、タイトルが面白そうだったので、読んでみました。
作者は、読解力がつかない本当の理由は、一読して「わかったつもり」になる状態だからだと語り、それ以上探索したり、より深く考えようとしなからであるらしい。
読解力の本だけに、読み込むにも読解力が必要であり、難しい本ですが、繰り返し読んでいくと、「文脈」をつかむことが、「読解力」に大きな役割を果たしているようです。また、分かったつもりにな

自律神経どこでもリセット!

もーとずぼらヨガ

三日坊主大歓迎!!

マンガ&イラストでヨガを学べます。三日坊主で、すぼりな人も職場や家庭でできます。「ねじり合掌のポーズ」と「戦士のポーズ」「呼吸法」が自律神経をリセットできます。

しがまっつ溶けた

金正美

北島幸三先生の紹介で読みました。しがまっつことは、津軽弁で「氷」のこと。著者は、若干20の才の大学生。タイトルは桜井さんの詩「しがまっつ溶けぬ」からアイデアしたそう。
何故、この本を手にとったかという、国のらしい患者隔離政策の下で、滅菌治療として焼きゴテで顔を焼かれた非人道的な治療と隔離に翻弄されながらも、人間としての尊厳を失わず明るく生き抜く主人公、桜井哲夫さんの詩と彼が言った言葉「らいて良かった。」が気に入っていたからです。
本の内容は、桜井さんとの出会いと韓国への旅、朝鮮と日本、らい患者のこと、が桜井さんの軽妙な言葉で綴られていきます。「らいて良かった」の理由がわかる一冊です。

らしようもん

芥川龍之介

そこは、善も悪もない
地獄のような世界
文学のほんとうの怖さを
体験してみませんか?

久方振りに「らしようもん」の文字と「そこは、善も悪もない、地獄のような世界」の帯に惹かれて読んでみた。
羅生門、鼻、芋粥、地獄変、竜、どれも芥川文学の最高峰であり、善と悪の入り交じった人間の不条理をあぶり出し、情景が映画のシーンのように迫り来るようなスピード感をもって展開する物語が素晴らしいです。流石です。
特に、地獄変は、二人の支配欲と芸術のためには、いと美しい娘をも焼き殺してしまうという異常な心理と容赦ない良心の呵責の間で、二人の本当の地獄を見る思いでした。あー、これが小説で良かったというのが感想です。現代語訳で、大変読みやすい本でお勧めです。